

H18試験施工内容

(1) H17に施工した単体の工法の改良

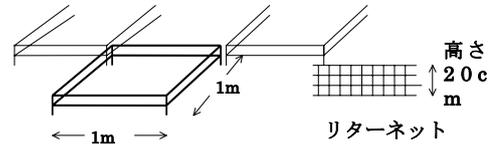
	リター捕捉ネット	木製筋工	急斜面用保護柵
手法区分	リター捕捉ロール工類	勾配・被覆	植生
今回試験施工の主なねらい	構造の耐久性、施工性	サイドや下流の浸食対応	急斜面での強度、施工性

現時点で把握できた施工性、費用(資材)について改良

(2) 斜面全体の土壌保全のための配置や組合せ

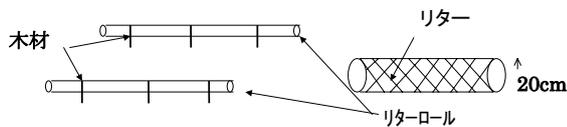
- ・斜面位置(上・中・下)
- ・局所地形(凹凸、ガリー)、局所条件(立木、根・・・)

带状ネットを用いたリターの捕捉による浸食防止



予め四角になるように製作しておく
→現地における施工を容易にする。

リターの捕捉ロール工の改良

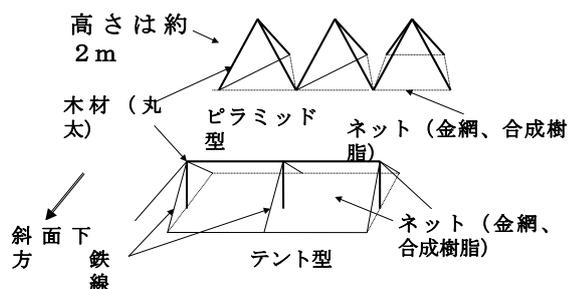


そのほか、リター捕捉工の改良案

- ネットの目を粗くする
- イノシシ柵のスカート部のみを応用して施工
- ネットの高さを低くする

など

設置、管理が容易な植生保護柵

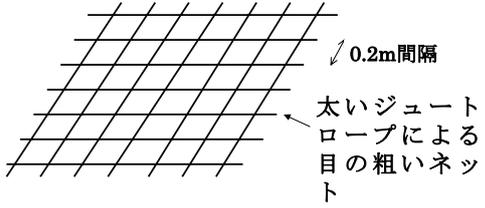


そのほか、保護柵の改良案

- イノシシ柵の格子パネルを従来型の金網にする。
- かご枠を伏せて置く。

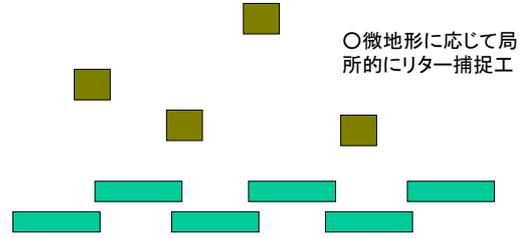
など

ネットを用いた被覆工



斜面全体の配置、組合せ

↑斜面上



↓斜面下

○保護柵を等高線上に千鳥状配置
(斜面中段、斜面下部?)

↑斜面上

斜面中段

斜面下部

下にガリー侵食

